

栗真小だより



令和5年1月16日発行

2023年がスタートしました！

新しい年 2023年が幕を開け、3学期がスタートしました。

栗真小学校も子どもたちの元気なあいさつから、3学期をスタートしました。今年はちょっとぴり長めの冬休み、きっと有意義にすごしてくれたことと思います。

3学期は、一番短い学期でありながら、一年の締めくくりや来年度に向けての準備と、大切な学期です。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染がいまだに懸念されますが、感染予防をしっかりと行いながら、本年も子どもたちや保護者の皆様・地域の皆様に「栗真小っていいな」と実感していただけるよう、「ていねいな」指導に全職員で努めてまいりたいと思います。

ご理解・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。



「啐啄同時(そったくどうじ)」！

先日、一歳半ぐらいの子どもとその母親が家族と食事をしている風景に出会いました。その子はスプーンを使って自分で食べようとしますがうまく食べられず、食べ物はこぼれて、着ていた服やテーブルが汚れそうになりました。すると、その母親は子どもが手に持っていたスプーンを取り上げ、服が汚れないように食べさせ始めました。子どもは、自分で食べることをやめてしまいました。そして、遊びながら、母親が口に運んでくれる食べ物を食べていました。

この様子を見ていて、私は、「啐啄同時(そったくどうじ)」という言葉思い出しました。啐啄同時とは、鳥の雛が卵から生まれ出ようと殻の中から卵の殻をつついて音をたてた時(啐)、それを聞きつけた親鳥がすかさず外からついばんで殻を破る手助けをする(啄)ことを意味します。これが「啐」と「啄」の関係で、互いが響同＝協同し合った時、新しい何かが誕生することを意味します。親鳥が、まだ孵化する気配がない卵をつついて割ってしまうと、おそらく、ひな鳥は死んでしまうでしょう。かといって、つつくのが遅すぎてもひな鳥は自力で孵化できずに力尽きて死んでしまうかもしれません。ひな鳥が殻を破ろうとするタイミングとぴったりあってこそ、ひな鳥を助けたことになるのです。



子育てや人の教育もこれと同じです。子どもを成長させるための一助も時期が早すぎると何の効果も得られないどころか、かえって悪影響を及ぼします。また、その時期を逃してしまうと、その遅れを取り戻すことは容易ではありません。

子どもの「知りたい」「やってみたい」「できるようにになりたい」という主体的な意欲・興味・関心からの「啐」に、適切に支援の手を差し伸べてやれる教師や親の「琢」があれば、きっと子どもは、意欲をもって学びに取り組んでいくのではないかと思います。慌ただしく過ぎていく毎日の中で、ともすると、気づかずに通り過ぎてしまう「子どもたちからの思い」(啐)を聴き取り、感じ取り、適切な「琢」で応えられるよう親や教師は、努めていきたいものです。

そして、そのことが、子どもたちに、「楽しさ」「安心感」「達成感」を生み出し、子どもたちの健やかな成長を促していくと思います。

年頭にあたって、改めて、大切にしたいこと！

令和4年度 わたしたちのやくそく

栗真小学校

○ 学校では

- ・ 正しい言葉づかいで話します。
 - ・ 自分から進んで、あいさつをします。
 - ・ チャイムの合図ですぐに勉強や仕事にかかります。
 - ・ 休み時間は、天気の良い日は外で元気に、雨の日には教室で静かに遊びます。
 - ・ そうじは、みんなで協力して、時間内に終わらせます。
 - ・ 廊下や階段は、走らず右側を歩きます。
 - ・ 自分の物も学校の物も大事に使い、使った物は元の場所に返します。
 - ・ 手洗い場やトイレは、いつもきれいに使います。
 - ・ 必要のない物は、学校に持ってきません。
- 例；キーホルダー、折り畳みの定規など
- ・ 勝手に学校の外へ出ません。
 - ・ 許しを得てから、他の教室に入ります。



鉛筆をけずり、筆箱の中を整理しよう。

余分なものは、入れないようにしよう。

筆箱の中

〔鉛筆HBかB:5・6本、赤鉛筆、名前ペン、

よく消える消しゴム、ミニ定規〕



「筆箱の中を整理しよう！」

筆箱の乱れは、心の乱れにつながります。